



平成26年1月20日発行(昭和51年12月1日発行)

特集
テーマ

ふるさとってなんだろう？

災害から立ち上がった私たちの地域

飯山市立常盤小学校5学年「常盤で生きる」～昭和58年洪水に学ぶ～から

2011年3月11日の東日本大震災から2年。
黙とうをして、被災地の映像を見た私たち。
そうして、こんなことを感じました。

常盤の洪水のことを
調べてみよう！

そういえば、私たちの
常盤地区も昔から
何回も洪水の被害に
あっていったっけ……。

どうやって立ち
上がったのかな？



東日本大震災で津波の被害を受けた東北の町



飯山市常盤地区は千曲川沿いにあり、昔から何度も水害に悩まされてきました。昭和58(1983)年にも千曲川があふれ、地区は泥の海となり、常盤小学校も被災しました。

昭和58年の被害
浸水した家702戸、水死したブタ646頭、水死したニワトリ2250羽、被害総額55億1000万円



昭和58年の洪水 飯山市常盤地区の様子

ぼくらは
常盤が大好き！
だから
ふるさとを大切に
していきたい！



災害に見舞われても
ふるさとへの気持ちは、
東北の人たちも、
常盤の人たちと
同じなんだ

そうか！

常盤に住み続けるのはね、

生まれ育った
ふるさとだから。

常盤の人たちも、こんな洪水があったのに、
ここに住み続けているのはなぜ？

地域の人たちに
インタビューしました。



おじゃまします。

どうして住み続けて
いるのですか？



災害の記憶を
常盤の未来のために
伝え続けていこう。

学んだことを冊子にまとめ、
地域の方々に配布しました。



護岸工事の見学もしました。



自分の家に
帰れるように、
復興に向けて
がんばろう！

ここが一番
いいところ。
仲間がいる。
田畑がある。
先祖代々の
土地だから。
人がいい。

各校のボランティア・地域活動の紹介

中野市立 高丘小学校

児童会活動でみんななかよしに

今年度のテーマは「協力」です



なかよし委員会の「なかよし給食」



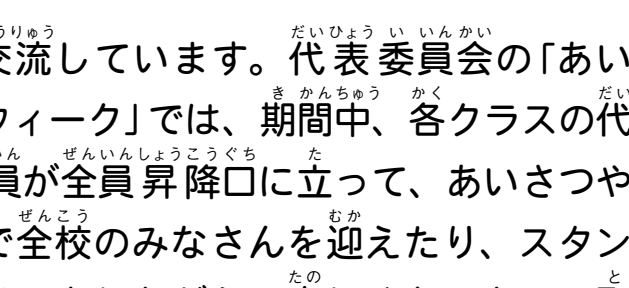
花と生き物委員会の「まど当てボール」



児童会祭りにて



代表委員会の「あいさつウィーク」



清掃委員会の「クリーン登校日」

高丘小学校では、全校児童がなかよくなれるように児童会が中心になってテーマ「協力」に向けて活動をしています。児童会祭りで、各委員会の活動内容を生かした保健給食委員会の「栄養バランスクイズ」、リサイクル委員会の「キャップつみ」などのアトラクションがあります。それぞれ、1年生から6年生まで全校の児童が、楽しみながら、遊びを通して自然に交流できるような活動内容になっています。

各委員会の活動も盛んです。なかよし委員会の「なかよし給食」では、姉妹学級ごとに、一緒に給食を食べて

り組めるようにしたりして、なかよしの輪を広げています。また、清掃委員会は、月に一回ずつ、クリーン登校日を設定して、友達と通学路のごみを拾いながら登校するように呼びかけています。これらの行事や活動を通して、全校のみんながなかよくなれるようにがんばっています。

私たちの学校では、
こんな活動をしています。



各校のボランティア・地域活動の紹介

茅野市立 泉野小学校

交流を深めよう 泉野っ子タイム!!

聴覚障がいがある方との6年間の交流を通して



手話をつけた歌を発表



ジャンパーづくり



ジャガイモもち作り

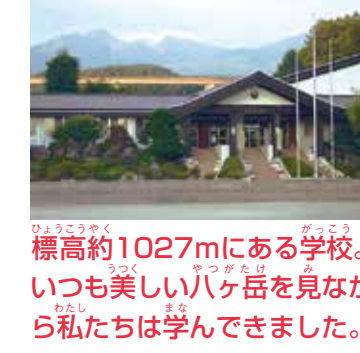
泉野小学校の6年生は今年度12人。1年生の時からずっと聴覚障がいがある方との交流会を続けてきました。昨年度は、市の「人権の花の交流会」で、一緒に行った人権の花を育てる活動の様子と、音楽会でも披露した手話をつけた「翼をください」の歌も発表しました。

今年度は、どんな活動をしようかと年度当初に話し合い、各学期に1回ずつ交流をすることにしました。1学期には、去年と同じように一緒にジャンパーに花を植え、心温まる活動ができました。夏場にはその花がたくさん咲いて玄関を彩りました。

10月の2回目の交流では、自分たちの畑で採れたジャ

ガイモを料理することにしました。どんな料理にしたらたくさん話せるか、また安全に調理ができるかなどを話し合い、ホットプレートで作れる「ジャガイモもち」を作ることにしました。調理中にも、手話や通訳の方を通してたくさん話ができました。最後に、T P Pバンドで作ったかごをプレゼントしたところ、「今度は私たちからも何かプレゼントをしたい」と言っていました。

6年間を交流を続けて、手話で簡単な話ができるようになったり、どうしてもっとなかなくなるか考えられるようになりました。

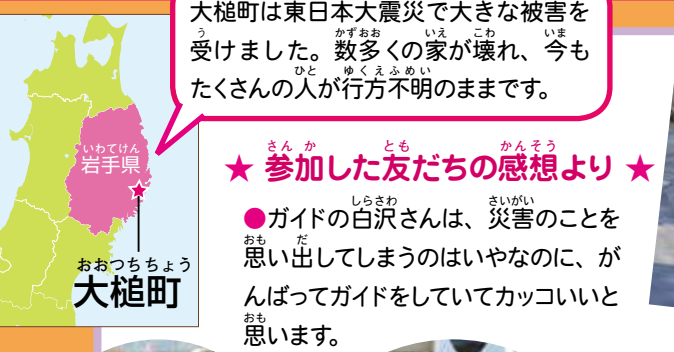


標高約1027mにある学校。いつも美しいバケ岳を見ながら私たちは学んできました。

あの震災を 忘れないで 大槌町を訪ねました



軽井沢町の小中学生を代表して、町内の3つの小学校の正副児童会長たちが、町社会福祉協議会主催の「復興支援バスツアー」に参加しました。夏に学校で講演してくださった大槌中学校の鈴木校長先生のお話を聞いた小中学生が集まり、「私たちにできることは何だろうか？」と話し合いました。



大槌町



大槌町

今回参加した7名は軽井沢町にいる小中学生の「現地の様子や、そこにいる人を知りたい、つながりたい」という気持ちを届けながら、大槌小学校の皆さんと一緒に津波の避難訓練にも参加しました。参加した友だちの報告をもとに、これから小中学生がみんなで協力して支援をしていきます。



大槌小学校の皆さんと津波の避難訓練

★参加した友だちの感想より★

●ガイドの白沢さんは、災害のことを思い出してしまうのはいいけれど、がんばってガイドをしてくれてカッコイイと思います。

●私たちに「何ができるか」と聞きました。それは「大槌の事を忘れないでほしい」との事でした。なので私は、大槌だけでなく、震災で被害を受けた地域を忘れずに日々を過ごしていきたいと思います。

●皆さんが元気に過ごしている姿を見ることができて、とてもホッとしました。津波や地震に負けない、いろいろな場面に真正面から向き合ったからこそ、今の白沢さんや小学生がいると思います。

●心の傷を抱えたままではいけません。そのような人達のために、東北に平和で無事に暮らせる日が来ることを願っています。

チャイルドライン

フリーダイヤル 0120-99-7777

困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

★ちょっといいにくいことでも、名前は言わなくてもいいので安心して話してください。

★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。

みんなにカードがなくても、フリーダイヤルでかけてね！

チャイルドラインにはみなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう！

●発行/お問い合わせ ●ふれあいネットワーク

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内
TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130
電子メール vcenter@nsyakyo.or.jp
ホームページ http://www.nsyakyo.or.jp

公益社団法人 信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyu.or.jp

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルとしてダウンロードできます。どうぞご利用ください。
<http://www.nsyakyo.or.jp>

この新聞の発行には、みなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。